

根本原因分析研修による原子力施設の推進中核者の育成

1. 目的

新検査制度に係る省令の改正に伴い、根本原因分析（RCA：Root Cause Analysis）が平成 19 年 12 月から導入されています。安全上重要な事故・トラブル等の分析にあたり、RCA の円滑かつ実効的な運用を図るよう原子力施設の RCA 推進中核者を育成するため、品質保証研究会（会長：関村直人 東京大学教授）等の協力を得て平成 19 年度から RCA 研修会を実施しており、平成 21 年 10 月～11 月にかけて以下の内容で第 5 回目の研修会を実施しました。

2. 研修の時期および内容

研修項目	内 容（研修時間）
講義（2 日間）	<ul style="list-style-type: none">・ ヒューマンファクター概論（1.5 時間）・ 組織エラー等の分析及び分析の問題点・実務者の留意事項（1.5 時間）・ RCA 概論（1.5 時間）・ JEAG ガイドと規制要求事項（2 時間）・ RCA 手法（拡張 CREAM 法, HINT J HPES, SAFER, ATOP）（5 時間）・ インタビュー実施時のポイント（1 時間）
事例演習（2 日間）	<ul style="list-style-type: none">・ 事例による RCA の演習（14.5 時間）
事例検討（1 日間）	<ul style="list-style-type: none">・ 「デビスベッセの RCA 報告書」の検討（2 時間） （変更分析、障壁分析、人間行動評価プロセス）・ 米国（WANO 等）分析の紹介他（1 時間）・ RCA 事例の検討（3 時間）・ RCA の導入に向けて（1 時間）

3. 研修の受講状況

これまで、原子力事業者、プラントメーカー（日本原子力技術協会会員）を中心として行った 5 回の研修会で全研修内容を修めた 215 名に修了証を授与しました。

以上



研修の様子 1



研修の様子 2